

## ITC技術の導入で『支援の手』を守りたい



ICTが得意とする記録事務や情報管理について業務の効率化を図り、本当に人が行うべき支援に時間をかけたい。

ICTを活用することで、記録の共有、情報の活用、安全・安心な介護、個別支援計画にそった適切な支援につなげたい。これが、私たちがICTチャレンジに懸けた願いです。

### 01 見える化で安心安全な夜を

シルエット見守りセンサーでは、転倒転落事故防止だけでなく、転倒リスクの高い利用者の、居室やフロアの頻回な巡回による睡眠の妨げが無くなりました。また、動きが見える事により、支援員の精神的肉体的負担が激減し、他利用者への支援に集中できる時間が増えました。



## LINWORKSで働き方改革の推進



ラインワークスの導入により、現場業務の効率化(だらだら打ち合わせ、なななミーティングの激減)意思決定の過程の見える化による上席者とのコミュニケーションの円滑化が図れております。また、各部署の現場の動きやご利用者の状態が一元的に把握でき、よりよい支援に対する方策を先手先手で打つことが出来ます。さらに事務負担の軽減も図れ、時間的なコストが節約でき、公私が明確化しより働きやすい施設へと生まれ変わろうとしています。

### 02 睡眠からQOL向上へ



アンシエルの導入により、夜間の利用者の睡眠を妨げることなく、巡回だけでは分からなかった、一人ひとりの利用者の睡眠状況の把握が可能となりました。

## 家族と一緒に『ケア』ができるケアコラボ

ケアコラボではスマホで直接介護記録が入力できるため現場を離れずに記録することができます。ご家族に公開できる機能があり写真、動画、コメントで日々の様子をお伝えし共有することでご家族様も一緒に支援ができます。



### 03 介護リフトで『出来る毎日』に



移動・移乗リフトでご利用者の安全と介助者の腰痛予防に繋がります。介護リフトでご利用者が快適に過ごせるよう利用者側の気持ちに寄り添い介護される方への安心感に繋げていけたらと思っています。

## LINWORKSで働き方改革の推進

LINWORKSの導入により、現場の業務効率が良くなりました。WORKSにより、職員間のコミュニケーションが図れ、現場の動き、ご利用者の状態が見られるようになり、共有することによって、より支援に対しての方策や取り組みがスピードを持って考えられるようになりました。

職員間の意思疎通を密に取り、いつまでも報連相が出来る働きやすい職場を目指します。



## 家族と一緒に『ケア』ができるケアコラボ

その場でスマホに記録することができ、ご家族にも写真や動画を最新で伝えることができます。コメントのやり取りや情報共有することで家族とのコミュニケーションツールにもなっています。



ケアコラボでは、最大の楽しみのお食事をご紹介することができ、ご家族のリプライもあるので、職員のモチベーションもあがります。食べている様子を見ることはご家族も嬉しいようで、安心にもつながっています。またご家族に公開した内容は他の職員も閲覧できるので、一斉に内容を伝達できるのが助かります。



## 職員の声



職員間の必要な伝達、連絡は業務遂行に必要不可欠です。特に入所施設のような不規則勤務の職場では、伝えたい事が伝わらず、課題の一つとなっていました。LINWORKS、ケアコラボは、情報の可視化により、的確に情報が伝わる事で、スムーズな連携ができると期待しています。

ご家族への内服依頼や通院報告なども電話や連絡帳を使っていましたが、ケアコラボを導入してからリアルタイムで情報共有も可能になり、業務の効率化にも一役かかっていると思います。



里で、どのような生活・活動をしているのかをすぐに、写真や動画で伝えることができるので、とても便利です。また、投稿したことに対してコメントでのやり取りができるので、ご家族との距離がグッと縮まりました。



## 睡眠からQOL向上へ

起き上がりセンサー「アンシエル」の導入で、夜間の巡回により利用者の睡眠を妨げることなく、一人ひとりの睡眠状況の把握が可能となりました。見える事での「安心」と「安全」、さらにその睡眠データを元に、「生活の質の向上」にも繋げていきます。



## 見える化で安心安全な夜を

「シルエット見守りセンサ」は、設定した範囲からのみ出しを検知し、音で教えてくれます。これにより、夜間帯の転倒事故への不安も無くなり、安心・安全な夜を提供できるようになりました。柵や障害物で遮られる事なく、当たり前で自分らしい生活を送ってほしい。そんな強い思いを実現させてくれました。



## 支援現場をかたちに

『皆が好き』『もっと喜んでほしい』  
『人の役に立ちたい』『笑顔が好き』

そんなスタッフの思いを現実するため

I TC技術の導入で支援の手を  
介護に関わる全ての人を笑顔に

## 職員の声



シルエット見守りセンサやアンシエルの導入で、モニターで寝ているご利用者様の動きに合わせて音楽で伝えてくれるため、いち早く気付くことが出来るようになりました。睡眠時間や呼吸・心拍数が見える化になり、些細な変化や大きな変化にも気付くことが出来るので、対応がよりスムーズになりました。

## 介護ロボで『できる毎日』に

移動・移乗リフトなどを使用する事で、利用者の安全と介助者の腰痛予防にもなります。介護ロボで快適に過ごせるよう利用者側の気持ちに寄り添い介護される方への安心感に繋げていけたらと思っています。